



「日の丸原発」と呼ばれる台湾電力第4原発は建設中止となった  
=2月、台湾・新北市貢寮区

プロセスだ。だが台湾では違った。72年に着工した台湾電力第1原発（新北市石門区）の近くに住む郭慶霖さん(53)によると、住民は表立って抗議はできなかった。「当時は戒厳令が施行され、抑圧された雰囲気だ

ったからだ。

### ◆警察が鎮圧

戒厳令は一党独裁体制を敷いた国民党が49年に布告。87年に解除されるまで言論が統制されたり、新党の結成が禁止されたりし

た。

郭さんは、第1原発建設以前の住民の日常を撮った白黒写真を見せてくれた。海辺で上半身裸になってウニを採る子どもや大人が写っている。「都会の子どもは切手を集めるが、私たちは海できれいな貝殻を集めて遊んだ」。その海には今、原発の温排水がごうごうと音を立てて流れ込む。

台湾電力第1〜3原発の6基は、戒厳令の解除以前に稼働した。第4原発は99年に着工し、1号機の日立製圧力容器は2003年に搬入された。住民は鉢巻きを締めて阻止を試みたが、警察に鎮圧された。しかし「反原発」を訴える声はその後、台湾全土へと着実に広がっていった。

台湾電力は第4原発の処分方策を練り始めている。同社幹部によると、未使用の機器を海外に売却したり、施設を火力発電所に造り替えたりする案が出ているという。  
(新北共同)

081-1397

宮城県仙台市青葉区山田1-1

Tel 022-384-3151(代表) 123

FAX 022-384-1169(仙台区事務所)

宮城県仙台市青葉区山田